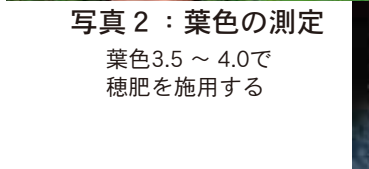




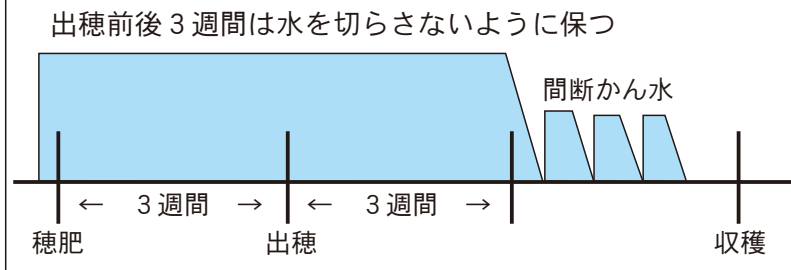
**写真1：幼穂の確認**  
幼穂長を確認し穂肥を施用する



**写真2：葉色の測定**  
葉色3.5～4.0で穂肥を施用する

田植作業を終え約1ヶ月半あまりが経過しました。今年度は移植後、高温・多日照で経過した為、活着は良好でありました。その後も高温・多日照が続いたことから草丈、茎数とも平年よりも多くなっております。一、穂肥施用のポイント  
幼穂が形成されていないうちに穂肥を施用すると倒伏の危険性が高まります。幼穂の長さ(写真1)と葉板で葉色を確認し(写真2)葉色が濃い場合は量を減らしたり、時期

**図1 カドミウム吸収抑制対策の水管理**



**品種別湛水期間**

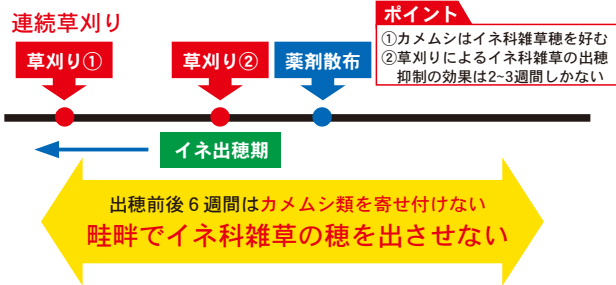
品種名	湛水期間
コシヒカリ・キヌヒカリ	穂肥Ⅰ施用後～8月中旬頃まで
日本晴・秋の詩	穂肥Ⅰ施用後～8月下旬頃まで
滋賀羽二重糯	穂肥Ⅰ施用後～9月上旬頃まで

を遅らせるなどの調整を行って施用しましょう。(表1)  
二、出穂前後の水管理  
出穂前後3週間の湛水管理(図1)で品質向上とカドミウム吸収を抑え安全な米づくりをしましょう。

三、病害虫防除  
いもち病(写真3)は雨が続きと発生しやすくなりますので、早期発見、早期防除に努めてください。カメムシの防除は適切な畦畔の草刈り(図2)を行うことにより、被害を軽減することができます。  
※今年度もニカメイガの被害(写真

**図2 畦畔2回連続草刈り**

(出穂2～3週間前と出穂期の2回連続)



**ポイント**  
①カメムシはイネ科雑草穂を好む  
②草刈りによるイネ科雑草の出穂抑制の効果は2-3週間しかない



**写真4：ニカメイガ第1世代の被害株**



**写真3：葉いもち病の病斑**  
早期防除が効果的。  
防除農薬：コラトップ粒剤5

4)が予想されます。苗箱施用剤は使用してはいない圃場は注意して下さい。

**栗東市病害虫防除協議会よりお知らせ**

稲作栽培の安定と品質向上のため、水稲の出穂期に合わせた農業組合単位の防除を予定していますので、ご理解と、ご協力をお願いいたします。  
事務局：JA栗東市営農課、栗東市役所農林課

**表1 穂肥施用のめやす (PKセーブ エコ480使用の場合 単位：kg/10a)**

移植日	品種	穂肥Ⅰ		穂肥Ⅱ		第1回穂肥施用のめやす	
		時期	施用量(10a)	時期	施用量(10a)	葉色	出穂前日数(幼穂長)
5/5	コシヒカリ	7/9日	15	7/16～19日	15	3.5以下	18日前(5～10mm)
5/5	キヌヒカリ	7/3日	20	7/10～13日	20	4.5以下	25日前(1～2mm)
5/5	日本晴	7/12～14日	30	—	—	4.0以下	25日前(1～2mm)
5/5	秋の詩	7/16～18日	20	7/23～25日	15	4.0以下	21日前(2～4mm)
5/5	滋賀羽二重糯	7/25	15	8/1	15	3.5以下	18日前(5～10mm)

※基肥一回タイプの資材(楽しょう君)を使用されている場合は穂肥の施用は不要です。

# 野菜づくり

今月は  
施肥のポイント

野菜の肥料の吸収は、育ちが進むにつれて多くなっていくので、

その吸収に応じられるように、肥料を補給してやります。元肥として与えた土壌中の肥料分は、野菜の吸収により減少し、また、降雨やかん水によって流亡する分もあるので逐次補う＝追肥をしなければなりません。

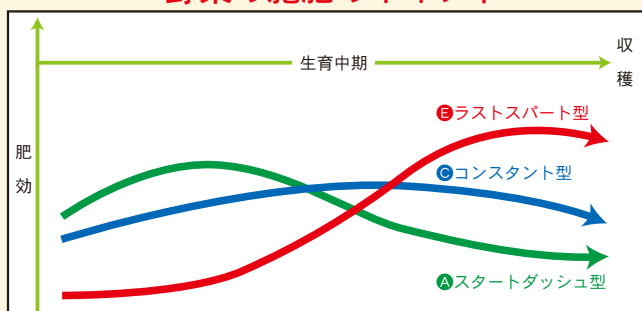
追肥の与え方は、(1)野菜の種類、(2)育ち具合、(3)畑の条件などを考えて決めることが大切です。茎や葉を大きく育てるだけの葉茎菜類（ホウレンソウ、小松菜、ニンジン、ネギなど）は、生育の進み具合、葉色を目安に、15〜20日置きに2〜3回、大きさに応じて増量しながら与えるようにします。果菜類は種類によって性質が異なり、キュウリ、ナス、インゲンなど実止まりしやすいものは、葉茎菜類に準じて、生育が進み、収量が増えればそれに応じて増量しながら数回与えます。

トマト、スイカ、カボチャなどは、果実が確実に着果し肥大するのが大切です。特に着果しにくい大玉トマトは、振動授粉やホルモン散布により確実に着果させ、一番果がゴルフボール大に肥大してから第1回の追肥をすることが肝心です。その後収量が増えるにつれて施肥量も増やし、全期を通じて3〜4回与えます。

畑が乾いた状態のところへ追肥したのではすぐに根に吸収されないで、株の周囲にばらまき軽く土に耕し込んだり、畝の側方にくわで溝を作り肥料をまき、すぐに土を戻し、肥料を埋め込みます。

肥料は根が伸び出し、先の方、溝を掘つたとき根が少し現れる辺りに与えるのが最良です。乾燥続きのときは施肥後にかん水したり、液肥

## 野菜の施肥のポイント



タイプ	代表的な野菜	施肥のポイント
スタートダッシュ型 (A)	コカブ、ホウレンソウ、レタス、サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ	元肥主体に、全層施肥。後半からはチツを特に効かせなくてよい。
中間型 (B)	キャベツ、ハクサイ、ハナヤサイ、タマネギ、ナガイモ	元肥主体に、肥効の長持ちする肥料を。生育中期までは肥料切れさせず、後半は控えめに。
コンスタント型 (C)	キュウリ、トマト、ピーマン、ナス、ネギ、インゲン、エダマメ、ニンジン、セルリー	元肥は肥効の長持ちする緩効性のものを。追肥は回数を多くし、後半肥料切れさせないように。
ラストスパート型 (D)	アスパラガス、スイートコーン、エンドウ、イチゴ	元肥はやや控えめに。追肥は早めに。
ラストスパート型 (E)	カボチャ、トウガン、スイカ、メロン、シロウリ、ダイコン、ゴボウ	元肥は控えめに。生育中期から後半にかけて追肥で生育を調整。

(施肥量は野菜によって異なる) ※⑧⑨は中間型の性質で作図は省く。

としてかん水代わりに与えるのも良法です。フィルムマルチをしている場合は、フィルムをめくるか、所々に穴を開けて与えます。雨による流亡が少ないので、施肥量は2〜3割減らしても差し支えありません。追肥に用いる肥料の種類は速効性で扱いやすい化成肥料、肥効が少くない油かす（あらかじめ完熟堆肥と混ぜて発酵させておけば最良）、有機配合などがお薦めです。1回の量は、葉茎菜類は畝の広さ1㎡当たり3〜5杯、果菜類は1株当たり各大きさ1〜2杯を目安とします。

## 今月のレシピ

### トマトの肉詰めオープン焼き



#### ★材料 (4人分)

- トマト 4個(600g)
- ジャガイモ 小4個
- ズッキーニ 1/4本(50g)
- 合いびき肉 15g
- 長ネギ(みじん切り) 20cm(30g)
- パン粉 大さじ2
- 溶き卵 1/2個分
- みそ 15g
- 塩 コショウ サラダ油 しょうゆ みりん

#### ★作り方

- ① トマトは上部を切り落とし、スプーンなどで中身をくりぬく。いずれも残しておく。ジャガイモとズッキーニはそれぞれ一口大に切り、水・コ

- ② ショウ・サラダ油各少々をまぶす。ポウルにAを入れ、粘りが出るまでよく混ぜ、4等分にして団子状にまとめる。これをトマトのくりぬいた部分の一つずつ詰める。
- ③ 耐熱の皿に②、ジャガイモ、ズッキーニをのせる。サラダ油少々をトマトにかけ、200℃に温めたオーブンで20分焼く。
- ④ フライパンにトマトの中身を入れてくずしながら中火で煮る。しょうゆ・みりん各大きさじ1を加え、煮詰めてソースを作る。
- ⑤ ③が焼きあがったら、トマトを皿に盛り、ズッキーニ、ジャガイモを添える。トマトに④をかけ、好みてトマトの上部を添える。